

福島県では、県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、優れたデザインの県産品を表彰する「ふくしまベストデザインコンペティション」を開催しました。  
応募総数 147 商品から選ばれた受賞商品をご紹介します。



株式会社日本百貨店 代表取締役

おおきゆき

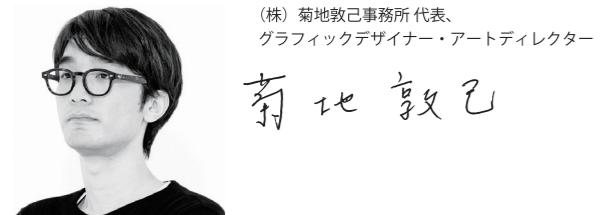
使ってくれる方のことを想像して、創意工夫でたくさんのトライを繰り返して、出来上がった品々は、どれもオモヤリにあふれていて、どういうことを考えて、どんな人が作ったのかなと、一つ一つ想像するのがとても楽しい審査になりました。皆様から感じたかったかさは、県民性なのかなと思います。

JUNKO KOSHINO (株)  
代表取締役常務

金子 嘉之



プロダクトデザイン部門やロングライフデザイン賞ができ、昨年よりも“福島らしさ”的商品が多く、風評被害、後継者不足など様々な問題をデザインの力で解決に取り組まれたことが、受賞につながったと思っています。地域に根付き変える事のできない完成された作品もあれば、これを機によりデザイン性の改良、進化を期待できる作品、この先の発展が感じられる作品が多く、新たな福島のデザインの力に期待したいと思いました。



(株)菊地敦己事務所 代表、  
グラフィックデザイナー・アートディレクター

菊地 敦己

2回目となる今回も、甲乙付けがたい力作が揃いました。チャレンジ精神あふれる開発が多く、さらなる展開を期待させられる楽しい審査となりました。また、新たにロングライフデザイン賞が設けられたことも有意義だったと思います。新旧が入り混じるコンペティションに広がっていくのではないかと楽しみです。



2019-20 表彰式の様子

ふくしまベストデザインコンペティション

Fukushima  
BEST  
DESIGN

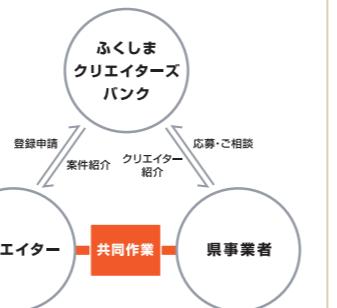
県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、「パッケージデザイン」「ネーミング」「商品企画」へのデザイン活用を図り、消費者に伝わる訴求力の高い商品を創出するため、優れたデザインの県産品を表彰するコンテストです。

ふくしまベストデザイン 検索

～商品へのデザイン活用を図りたい事業者様～

### ふくしまクリエイターズバンク

福島の県産品の魅力を、より多くの方に届けたい。  
この「ふくしまクリエイターズバンク」は、そんな想いを抱く事業者とクリエイターとの出会いの場です。県産品の「魅力」とクリエイターの「デザイン」の力を融合させ、新たな商品やパッケージの開発により、消費者に「伝わる」「売れる」商品を目指し、県産品の更なるブランド化を図ります。マッチングのご相談は下記よりご応募ください。



ふくしまクリエイターズバンク 検索

### 福島県県産品振興戦略課

☎024-521-7296



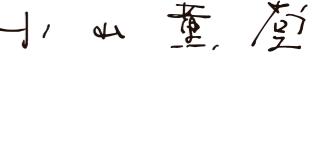
# Fukushima BEST DESIGN

2019-20



審査委員総評

放送作家・脚本家、  
京都造形芸術大学副学長



昨年もすごく面白かったので、これ以上良いものが出るか心配でしたが、まだ福島には多くの可能性があることを実感しました。これはあくまでもデザインの審査ですが、デザインに負けないくらい中身の充実を期待しています。事業規模や資本の大きさではなく、個人商店でも知恵と実行力によって素晴らしいものを作ることができるので、今後もすべての方に頑張ってほしいと思います。

タレント

眞鍋かをり



ただ良いものというだけでなく、デザインやネーミングの工夫でその良さを何倍にも膨らませている商品がたくさんあり、いち消費者として心惹かれました。これからさらに、たくさんの人に福島の魅力が伝わる可能性を感じます。

コピーライター・  
クリエイティブディレクター



国井 美果

「今年は、どんな福島と出会えるだろう?」と、去年以上に貪欲に楽しく審査に臨みました。永く息づいてきた価値を新しい魅力に生まれ変わらせる商品はもちろん、新設の「ロングライフデザイン賞」の存在もあり、これぞ福島の真骨頂、という商品も集まりやすくなつたと思います。知れば知るほど恐れ入る福島の魅力に、世の中だけではなく福島のみなさま自身が気づききっかけになればうれしいです。



## 2019-20 グランプリ

さんま ささ干

有限会社 丸由水産（いわき市） TEL 0246-92-2932

シンプルかつ高級感のあるデザイン。  
親潮と黒潮が交じり合う「潮目」を表現

日本酒をベースに味付けし、焼くとほのかな酒の薰りが広がる干物。パッケージデザインは良質な漁場である常磐沖をイメージし、潮目や小名浜の岬を表現しています。



ロングライフデザイン賞



アップルシャーベット

トーニチ 株式会社（福島市）  
TEL 024-552-2161

1981年発売当時のロゴを  
復刻。子どもたちにも  
喜んでもらえるデザインに

学校給食のデザートに採用され、世代を超えて愛され続けるロングセラーアイテム。国産の「紅玉」にこだわり、製法、特製シロップの配合は発売当時のままのレシピで作り続けています。可愛らしい林檎のデザインは発売当時のものを使用。



審査委員特別賞



郷土玩具の豆皿

ほくるし堂（会津若松市）  
<http://hokurushido.mystrikingly.com/>

伝統工芸品をカジュアルに。  
すべて手描きのイラストで  
ほっこりした味わい



さんま ささ干

有限会社 丸由水産（いわき市） TEL 0246-92-2932



duo de raisins  
(巨峰枝付き干しうどう)

株式会社フルーツのいとう園  
(福島市)  
TEL 024-563-5512

無添加にこだわった自然の味。  
高級贈答品としての  
品格を備える



高級種の巨峰を枝付きのまま、無添加で乾燥させた干しうどう。実をつける前から2つの房になるよう整形しているところから「duo de raisins」とネーミング。ブランドデザインは、黒を基調に金色のロゴマークが映える高級感の伝わるものにしました。



ふくしほり りんごジュース  
ふくしほり ももジュース  
ふくしほり さるなじゅース

有限会社 くだもの畑（福島市）  
TEL 024-593-4564

果物の産地福島を  
「かわいい」デザインで発信！  
SNS活用も視野に



県産のりんご、もも、さるなじを贅沢に絞ったジュース。パッケージには「土湯こけし」「赤べこ」「三春駒」などをあしらい、一目で福島県産とわかるものに。飲み終わった後は、お部屋を飾るアイテムにもなります。

キャッチコピー・ネーミング部門  
商品の特徴や強みをわかりやすく伝え  
心に響くメッセージを残すもの



旧校鉛筆

株式会社 磐城高箸（いわき市）  
TEL 0246-65-0848



木の香りがうれしい鉛筆。  
学校の空気をまとったような  
素朴で優しいデザイン

廃校となつたいわき市立田人第二小学校南大平分校ができるだけ手を加えずに改修。周囲の山々から丁寧に伐り出された木材を使用し、鉛筆を一貫製造できる拠点に。ネーミングは、木の優しさや背景に流れれるストーリーを感じてもらえるシンプルなものにしました。



ぶりり  
(味付けこんにゃく)

有限会社 ケーフーズ生田目（塙町）  
TEL 0247-43-0429



食感のイメージが  
そのまま伝わるような  
おいしいネーミング

袋を開けてそのまま食べることができる「地鶏昆布白だし味付けこんにゃく」。女性にも男性にも気軽に手に取っていただけるような商品をめざして開発しました。ネーミングは、こんにゃくの持つ素朴なおいしさと上品な味付け、ぶりりとした食感がそのまま伝わるものに。



ピンピンころりカレー

株式会社 会津美里振興公社  
(会津美里町)  
TEL 0242-57-1175



びんびん 長生き！  
会津のスーパーFード、  
おたね人参を健康カレーに

会津で江戸時代から栽培されている「おたね人参」の復活を願い、牛肉の旨味とほろ苦さがくせになる健康カレーを開発。ネーミングは、会津地方の三つの観音様をお詣りすると長寿いせず、コロリと極楽往生できるとされる「会津ころり三觀音」から。

プロダクトデザイン部門  
対象商品の本体に施された独自性や  
企画力に優れたデザインを伝えるもの



caracoro  
(桐下駄)

佐原桐材履物店（会津若松市）  
TEL 0242-22-2658



機能性と楽しさを両立。  
会津桐の可能性を  
引き出す新しい時代の下駄

会津桐の持つ柔軟性を更に生かし、新たな履き心地とデザインに挑戦。軽量で温かみのある桐そのものの持ち味がより一層楽しめ、強度も確保しています。「カラコロ」は履物の軽快なイメージからネーミングしました。



小法師コーン  
(三角コーン)

有限会社 古川コーヒーセンター  
(会津若松市)  
TEL 0242-25-2343



会津古来の愛らしい縁起物「起上り小法師」をモチーフにしたコーン。穀風景な街なかが笑顔になることを考え開発しました。あるだけほのぼのした雰囲気が溢れ、現場を和ませる効果を演出します。



旗まつり  
(タペストリー／風呂敷)

佐久間呉服店（相馬市）  
TEL 0244-35-3013



相馬野馬追の旗印が集結。  
伝統とアートが融合した  
勇壮なタペストリー

相馬野馬追を世間に広めていくことを目的として、相馬野馬追に出場する騎馬武者の家々に代々伝わる「旗印」を収めたタペストリーを商品化。風呂敷として土産物を包んだり、のれんや装飾など、様々な用途に使用することができます。